

ミステリ読書案内

2020. 4. 29 発行元

第80号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

齋藤栄 ベスト表

76号で島田一男の紹介をしたが、今度は齋藤栄。これまた、若い読者には通じなくなって来ている作家だと思う。今後、ますます影は薄くなっていくと思うが、記録として残しておくことは必要だろう。

齋藤栄という作家

齋藤栄は1933年生まれ、今年で87歳。『読書案内』76号で紹介した島田一男よりはひと世代後の作家になる。

東大を卒業した後、横浜市役所に勤務。1963年に『宝石』の中篇賞受賞。1966年に『殺人の棋譜』で江戸川乱歩賞を受賞している。乱歩賞は何度か候補に上がったことがあり、その分も併せての結果だったように思う。

『殺人の棋譜』は、歴代の乱歩賞受賞作に比べると、レベルはそう高くない。まあ、当時はノベルスの時代であり、速筆だったので、出版社からは重宝された。

たくさんの作品があり、完全な書誌は作られていないようだ。私の現在の既読が315冊で、未読が70冊以上あるので、総作品数は400冊を越えるくらいではないかと思われる。

たくさんのシリーズもの

「齋藤栄の代表作？」と聞かれてもなかなか答えにくい。一番有名なシリーズは「タロット日美子」シリーズだとは思う。派生した枝まで入ると作品数も一番多いはずだ。テレビドラマにもなったと思う。ただ、ミステリとしての完成度はあまり期待しない方がよい。

タロット占いとミステリ…ネットで調べてみると、「タロット占い」を扱っているミステリらしきものはそれなりにたくさんあるようだ。ただ、ライトノベル系系ものがほとんどで、私が題名・作家名を見ても知っているものはひとつもなかった。「若い人は占い好き(女の人は、かな?)」という発想があるのかもしれない。科学的な裏付けが必要だね。

他に「江戸川警部シリーズ」「小早川警視正シリーズ」「魔法陣シリーズ」などがある。「魔法陣シリーズ」はなかなか全巻揃えられなくて、数年前によく読み終えた。今現在は、時期を逃すと本を手に入れるのも苦労する。2~3冊で終わってしまったシリーズもあれば、単発もの作品も多い。

私としては、ノベルスの形で出ていたトラベルミステリ系の初期の何冊かと「犬猫先生シリーズ」あたりが良い出来なのかなと思っている。

気軽に読むには最適かな？

今後、あまり再刊されるとは思わないし、ミステリ古典として残るわけでもないだろうが、私にとっては、仕事の忙しい時期に、気軽に読む本として存在価値があった。

本の帯を見ると、「本格ものか?」と思わせる大げさな宣伝文で、毎回期待を持って読み進めるのだが、結末は「何だこれは!」と思う程度の肩すかしの解決、説明になってしまうことが多かった。「まあ、そんなものだ」と思えばそれなりに楽しめる。読みやすくて、たちまちに読めるのが有難い。

ブックオフなどの中古書店でも急速に在庫が少なくなってきている。あと数年すると、完全に見えなくなってしまうかもしれない。

《齋藤栄作品のベスト表》

1. 飛鳥十字殺人事件
2. 東北新幹線殺人旅行
3. 死角の時刻表
4. 洞爺王将殺人旅行
5. 殺意の時刻表
6. 赤蛇家の惨劇
7. 古都殺人事件
8. 珊瑚樹の殺人
9. 日本国有鉄道殺人事件
10. 北海道恋の推理日記
11. 函館江差旅情殺人
12. 将棋駒殺人事件 (短)
13. 巨人機が消えた
14. 犬猫先生探偵記
15. 鎌倉薪能殺人事件
16. 犬猫先生のUFO推理
17. 殺人の棋譜
18. 女高生俳句殺人事件
19. 徒然草殺人事件
20. 赤富士殺人事件 (短)
21. 横浜山下公園殺人事件
22. イエス・キリストの謎
23. 函館宮崎日南殺人旅情
24. 乱歩幻想譜
25. 火の魔法陣
26. 金糸雀の唄殺人事件
27. 日美子の大予言
28. タロット日美子の列車殺人
29. 犬猫先生VS殺人鬼
30. 星の上の殺人 (短)
31. 黒部ルート殺人旅行
32. 風の魔法陣
33. 砂の沈黙
34. オロフレ峠の殺意
35. 宝石泥棒
36. 奥の細道殺人事件
37. 犬猫先生推理旅行記(短)
38. 神奈川県謎青色の殺人
39. 方丈記殺人事件
40. 横浜QE2号殺人事件

私が今の段階で読んでるのは315冊。まだ読んでいないものが70冊程度あるようだが、全体像はこんな感じだと思う。短編集については、各出版社ごとに収録作品に重複があり、きちんと整理できているわけではない。